

市町村名	今帰仁村						
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【中期的検証事業】							
事業名	幼保連携一体化施設整備				沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章－2－(2)－イ 地域における子育て支援の充実	
担当部課名		福祉・こども課	事業実施 年度	平成 27	令和 1	年度 III-3-(2)	
事業内容	就学前の子どもを持つ家庭の育児支援や連続性のある幼児教育、保育環境を創出し、保育サービスの拡充と地域の子育てニーズや新制度に対応したバランスのとれた総合的な子育て支援を行うため、就学前の幼児教育・保育を一体的に担う「幼保連携一体化施設」の整備を行う。						
実施方法	■ 直接実施 □ 委託 □ 補助 □ 負担 □ その他()						
事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		27～28年度	29年度	30年度	31年度	合計	
	実績報告上の総事業費(最終)	92,309,000	67,225,680	854,731,000	22,737,000	1,037,002,680	
	A. 予算現額	92,309,000	68,832,000	854,731,000	22,947,000	1,038,819,000	
	B. 執行済額	92,299,000	67,225,680	852,517,000	22,737,000	1,034,778,680	
	うち 交付金充当額	73,846,000	53,780,000	682,013,000	18,189,000	827,828,000	
	執行率(％)(B/A)	100.0%	97.7%	99.7%	99.1%	99.6%	
	執行状況の説明	各年度において90%以上の執行率で事業を実施しており、概ね計画通りに執行することができた。					
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況					
			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
	幼保連携一体化施設の整備	目 標 実 績	・基本計画の検討 ・基本設計の検討 ・基本計画策定 ・基本設計策定	・実施設計、用地測量及び地質・磁気探査、造成設計の業務委託 ・実施設計、用地測量及び地質・磁気探査、造成設計の業務委託の完了	・造成施工監理、解体施工監理の業務委託 ・造成工事、浄化槽設置・撤去工事、解体工事の工事発注 ・造成施工監理の業務委託の完了 ・造成工事、浄化槽設置・撤去工事、解体工事の工事発注の完了	・建築工事の発注 ・外構工事発注。 ・建築工事の完了 ・外構工事の完了	・外構工事(駐車場)の発注 ・安全対策工事の発注。 ・外構工事(駐車場)の完了 ・安全対策工事の完了
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況					
			H28年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
	建築および外構工事の完了	目 標 実 績	・基本計画の決定 ・基本計画の決定	・実施設計及び造成設計業務の完了 ・用地測量及び地質・磁気探査業務の完了 ・用地取得及び取得用地の登記完了 ・実施設計及び造成設計業務の完了 ・用地測量及び地質・磁気探査業務の完了 ・用地取得及び取得用地の登記完了	・造成工事及び、施工監理の完了 ・解体工事及び、施工監理の完了 撤去工事及び、新設工事の完了 ・造成工事及び、施工監理の完了 ・解体工事及び、施工監理の完了 撤去工事及び、新設工事の完了	・建築及び外構工事の完了 ・建築及び外構工事の一部を完了し、残については繰越	・外構工事(駐車場)の完了 ・安全対策工事の完了 ・外構工事(駐車場)の完了 ・安全対策工事の完了

事業完了後の取り組み

事業完了後の成果目標	成果目標（指標） ■ 中期にわたる事業効果 □ 後年度に発現する事業効果		達成／進捗状況				
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度 目標/発現年度
	年間利用者数	目 標	172人	172人	172人	172人	172人
		実 績	145人	158人	145人	146人	145人
	待機児童数	目 標	0人	0人	0人	0人	0人
		実 績	0人	0人	0人	0人	0人
	状況説明	【令和2年度】 ・年間利用者数は目標を下回っているが、良好な子育て支援環境が充実し保育の受け皿の拡大が図られている。 ・待機児童数は0人であり、達成状況は順調である。 【令和3年度】 ・年間利用者数は目標を下回っているが、良好な子育て支援環境の充実が図られ、児童数は増加したが保育の受け皿は、まだ十分に確保されている。 ・待機児童数は0人であり、達成状況は順調である。 【令和4年度】 ・年間利用者数は目標を下回っているが、良好な子育て支援環境が充実し保育の受け皿の拡大が図られている。 ・待機児童数は0人であり、達成状況は順調である。 【令和5年度】 ・年間利用者数は目標を下回っているが、良好な子育て支援環境の充実が図られ、児童数は増加したが保育の受け皿は、まだ十分に確保されている。 ・待機児童数は0人であり、達成状況は順調である。 【令和6年度】 ・年間利用者数は目標を下回っているが、良好な子育て支援環境が充実し保育の受け皿の拡大が図られている。 ・待機児童数は0人であり、達成状況は順調である。					
【完了後】事業効果等の確認 （施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等）			【完了後】改善措置等の検討 （事業効果の更なる向上等）				
【令和2年度】 ・施設の開設に伴い待機児童が解消された。 【令和3年度】 ・児童数がわずかに増加したが、更なる良好な子育て支援環境の充実を図るには保育士の確保が課題である。 【令和4年度】 ・待機児童は解消されたが、出生数の減少がみられる。 【令和5年度】 ・待機児童は解消されたが、多様化する保育ニーズに対応した保育内容の拡充が必要である。 【令和6年度】 ・待機児童は解消されているが、就労状況等に関わらず全ての児童に保育及び子育て支援の提供が求められている。			【令和2年度】 ・待機児童の解消は図られたが、これからは少子化対策にも結びつけていく必要がある。 【令和3年度】 ・村内外に広く周知していく必要がある。 【令和4年度】 ・児童が減少した際に、現在配置している保育士の対応について検討する必要がある。 【令和5年度】 ・保育士の確保だけでなく看護師等の確保に努め、多様化する保育ニーズへの対応を図る必要がある。 【令和6年度】 ・保育士の確保だけでなく、より良い保育及び子育て支援を提供するため、保育士の質の向上にもさらに取り組む必要がある。				
今後の取り組み方針（関連・同種事業へのフィードバック等）							
【令和2年度】 ・村の施策を踏まえ、子育て世代の住みよい環境の整備を充実させていくことで少子化対策に繋げる。 【令和3年度】 ・ホームページや広報誌等で広く周知を行い、保育士養成学校との連携を図り保育士の確保に繋げる。 【令和4年度】 ・現在配置している保育士を子ども・子育て支援事業等に配置することで、保育ニーズの対応拡充を図る。 【令和5年度】 ・継続してホームページや広報誌で広く周知を行い、保育士の確保に努めるとともに、看護師等の確保についても広く周知し、多様化する保育ニーズの対応に繋げる。 【令和6年度】 ・保育士の質の向上のための研修実施や、保育士の業務負担軽減を図ることで、児童と向きあう時間を創出し、より良い保育及び子育て支援の提供に繋げる。							